

次代を担う学生に商船学科を紹介 ～2015年度国立高等専門学校（商船学科）5校合同進学ガイダンス～

日本船主協会は、2008年7月に「人材確保タスクフォース」を設置し、優秀な日本人船員（海技者）確保のための広報活動を行っている。この一環として、国立高等専門学校（商船学科）5校（富山・鳥羽・広島・大島・弓削）合同の進学ガイダンスを実施しており、8回目となる今年は、国土交通省、文部科学省のほか、富山県、三重県、広島県、山口県、愛媛県、神奈川県、兵庫県の各教育委員会と、(独)航海訓練所、(一社)全日本船舶職員協会、(一社)日本長距離フェリー協会の後援の下、全国3カ所で開催した。

ガイダンスは6月20日の広島会場（TKP ガーデンシティ広島）を皮切りに、7月18日に神戸会場（三宮研修センター）、7月20日に横浜会場（ナビオス横浜）で夫々開催され、過去最高の計213名の学生及び引率者が参加した（各会場の参加者数は下表参照）。各会場では、冒頭に日本船主協会の田中俊弘常務理事が挨拶し、日常生活に占める海運の重要性や日本人船員の必要性について説明した。国立高等専門学校（以下高専）の先生からは、学校生活の様子や高専卒業後の進路などについて説明があった。また、近年高専卒業生も多く活躍している長距離フェリー業界を代表し、長距離フェリー協会事務局の長田栄弘氏から業界の説明があり、続いて当協会会員会社の若手航海士・機関士が、高専入学のきっかけや学校生活、仕事の内容や船の大きさなどについて写真と共に紹介した。また、高専ごとのブースが設けられ、先生や学生、OB・OGに入試から日常生活まで様々なことを質問する参加者の姿も見られた。

また、横浜会場では、ガイダンス前に、事前申込者を対象に日本丸メモリアルパークで総帆展帆の解説付鑑賞会を行った。眩しい陽光の下での鑑賞にもかかわらず、こちらも多くの方が参加し、好評を得た。

当協会は今後も関係機関と連携し、合同進学ガイダンスを開催していく予定である。

3会場の参加者（計213名）内訳

広島：100名（中学生48名、保護者51名、教師等1名）

神戸：52名（中学生21名、保護者26名、教師等5名）

横浜：61名（中学生24名、保護者31名、教師等6名）

高専側総合説明を担当された教官

広島会場：国立広島商船高等専門学校 河村義顕先生

神戸会場：国立大島商船高等専門学校 古本啓二先生

横浜会場：国立富山高等専門学校 千葉元先生

高専卒業生の皆さん（順不同）

広島会場：

川崎汽船(株) 田中拓海 三等機関士

日本郵船(株) 草加大司郎 三等航海士

神戸会場：

日本郵船(株) 岩田圭司 二等機関士

(株)商船三井 川瀬悠三 三等航海士

横浜会場：

(株)商船三井 阿部誠 二等機関士

JX オーシャン(株) 山縣匠 三等航海士



6月20日 広島会場の様子



広島会場 各校ブースの様様



7月18日 神戸会場の様子



神戸会場 各校ブースの様様



7月20日 横浜会場の様子



横浜会場 各校ブースの様様



横浜会場

日本丸メモリアルパークにて総帆展帆鑑賞